

1 基本構想策定に係るこれまでの検討状況

時 期	会 議 名 （ 内 容 ）
令和 5 年12月21日	文教福祉委員会（基本構想策定の概要説明）
令和 6 年 1 月10日	第 1 回海田東小学校校舎建替検討部会（骨子案説明）
令和 6 年 2 月15日	総合教育会議（骨子案説明）
令和 6 年 2 月20日	教職員説明会（骨子案・アンケート調査説明）
令和 6 年 2 月22～29日	保護者・教職員アンケート調査実施
令和 6 年 2 月28日	文教福祉委員会（骨子案説明）
令和 6 年 4 月26日	保護者説明会（骨子案説明，保護者・教職員アンケート調査の結果報告）
令和 6 年 5 月28日	第 2 回海田東小学校校舎建替検討部会（素案説明）
令和 6 年 6 月13日	教育委員会会議（素案説明）
令和 6 年 6 月24日	海田東小学校校舎建替検討部会先進地視察（廿日市市立大野西小学校）
令和 6 年 7 月 2 日	文教福祉委員会（素案説明）
令和 6 年 7 月 4 日	保護者説明会（素案説明）

2 スケジュール（予定）

時 期	会 議 名 （ 内 容 ）
令和 6 年 7 月29日	第 3 回海田東小学校校舎建替検討部会（最終案説明）
令和 6 年 8 月21日	総合教育会議（最終案説明）
令和 6 年 8 月下旬	全員協議会（最終案説明）
令和 6 年 9 月上旬	基本構想策定

1 概要

海田東小学校校舎の建替えにあたり、建替対象施設や、建替えに係る基本計画・基本設計及び実施設計業務の発注方法について、海田東小学校校舎建替検討部会や保護者説明会での意見、保護者・教職員向けアンケート調査の結果等を踏まえ、整備方針を整理した。

2 整備方針

(1) 建替対象施設

- ・当初予定していた本館に加えて、新館、給食室を一体的に建て替える。【教育活動の更なる充実】

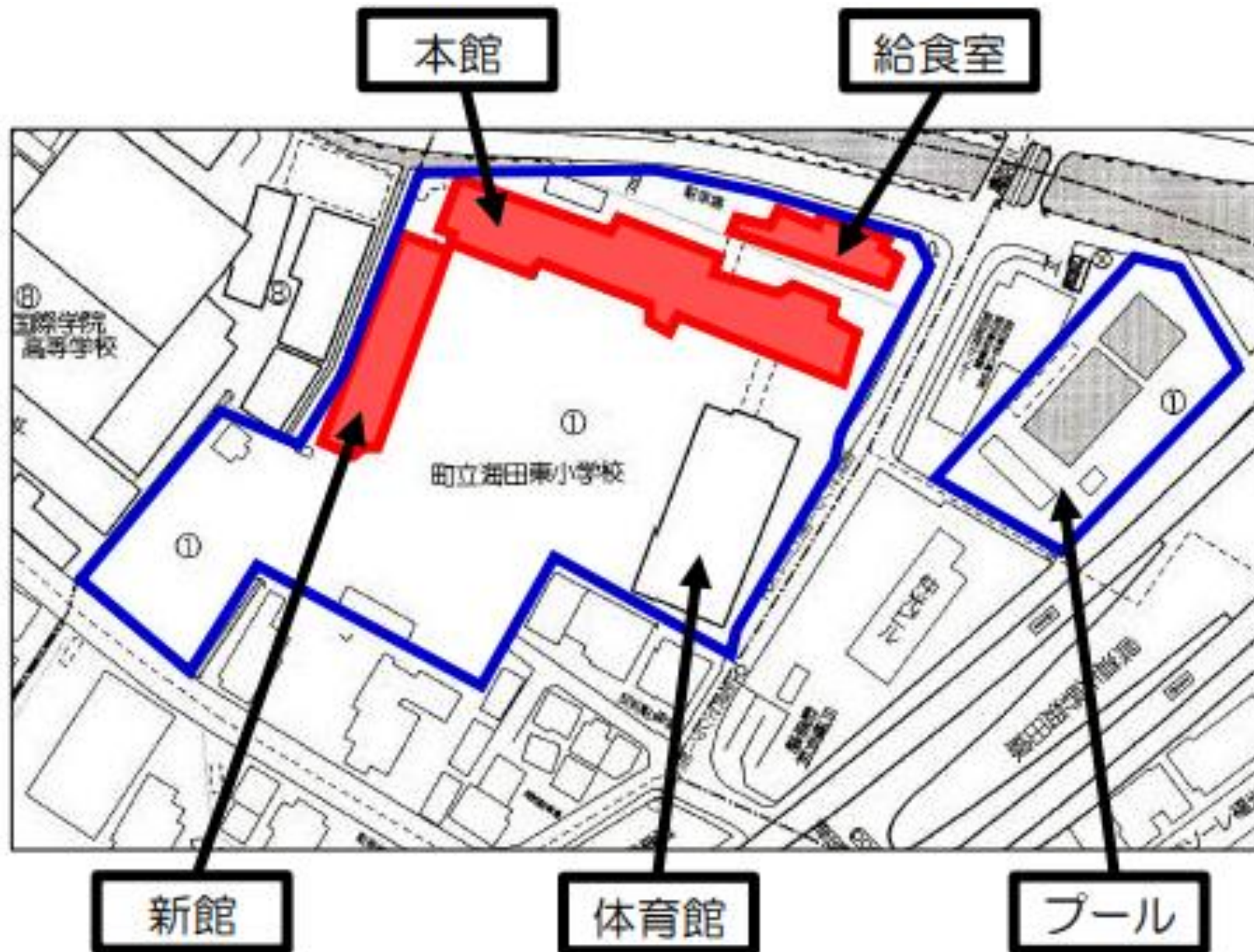
なお、給食室については、町立中学校の給食についても集中的に調理し、提供することを見据えて、整備する。（令和14年度からの導入を検討）

- ・町民センター内の児童クラブを建替後の校舎に移設する。【児童の安全確保・利便性向上】

(2) 建替えに係る基本計画・基本設計・実施設計業務の発注方法

- ・基本計画、基本設計及び実施設計業務を一括発注する。【事業期間の短縮】

【参考】海田東小学校 配置図



3 スケジュール

本館のみの建替えを検討していた段階（基本構想骨子案作成段階）と変わらず、令和11年4月供用開始を目指す。

項目／年度	R5		R6			R7				R8				R9				R10				R11			
基本構想																									
基本計画・基本設計																									
地質調査等																									
実施設計																									
建築工事																									
供用開始																									

海田東小学校校舎建替基本構想（最終案）について



海田町教育委員会事務局

海田東小学校，海田小学校の校舎建替にあたり，
町立学校の校舎建替の基本理念を整理。

- 子供たちにとって，魅力的で居心地の
良い空間（居場所）を創り，
「明日また行きたい学校」と思える**学び舎**にします。
- 地域とともに育んできた
学校の伝統や歴史を継承しつつ，
- 「**地域と共に育つ学校**」として，
将来にわたって地域の誇りを育む
「**地域の宝**」となるような**学び舎**にします。

基本理念



子供みんなの居場所を
つくる



学校の伝統や歴史が
つづく



地域の未来に
つながる

基本構想策定の参考とするため，

- 海田東小学校の保護者，町内全小学校（4校）の教職員を対象とするアンケート調査を実施。

【調査期間】

令和6年2月22日（木）～令和6年2月29日（木）

【調査対象】

保護者 403名（1年～6年の長子数）

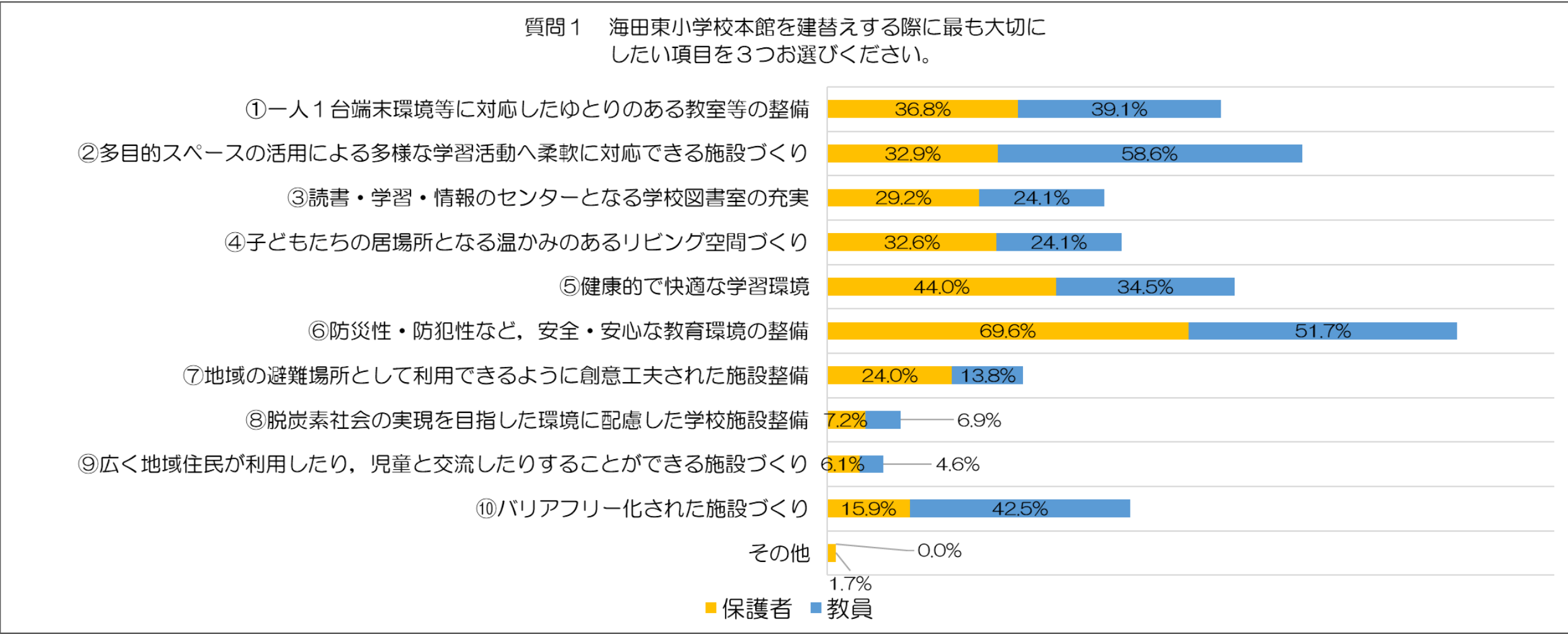
町内全小学校の教職員 87名

- 学校関係者からのヒアリングや保護者説明会での質疑を通じて，校舎等に関する意見等を収集。

【アンケート回収状況】

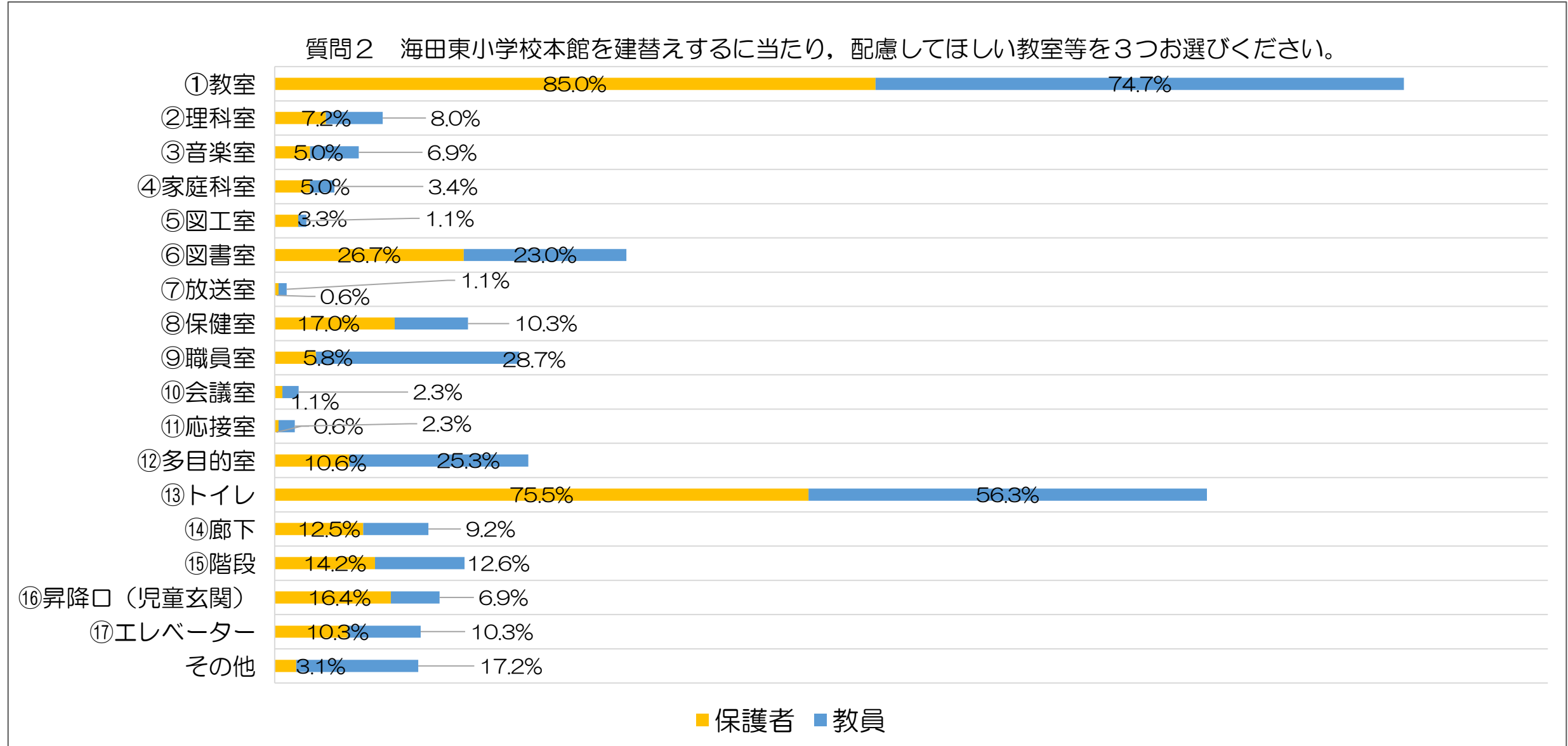
対象	対象人数	有効回答数	回収率
保護者	403	359	89%
教職員	87	87	100%

《海田東小学校本館を建替える際に最も大切にしたい項目》



※回答者（保護者359人，教職員87人）のうち，項目を選択した者の割合。

《海田東小学校本館を建替えるに当たり，配慮してほしい教室等》



※回答者（保護者359人，教職員87人）のうち，項目を選択した者の割合。

《アンケート調査の(3)自由記述や，学校関係者への意見聴取でいただいた校舎等に対する意見》

1 校舎全体

- 校舎を一つにして一体感を出すとともに，運動場を現運動場より広くする。
- 教室との間仕切りをはずして広い空間を確保できたり，教室を間仕切りで仕切って，狭い空間を確保できたり，用途に合わせて空間をフレキシブルに活用できるような整備をする。
- 異学年による交流・活動を行いやすい教室の配置を考える。
- 児童の安全を確保する観点から，学校敷地外にある児童クラブを学校敷地内に整備する。
- 地域住民と連携・協働する共創空間を整備し，地域の避難所として，地震等の災害に対する防災機能を強化する。

2 学校図書館

- 読書活動の場に加えて，児童が主体的に学ぶ学習の場や情報を収集・活用する場としての機能を充実させる。
- 児童がリラックスしながら読書を楽しむことができる環境を整備する。

3 トイレ等

- 便座の洋式化，床のドライ化，自動洗浄，自動照明を取り入れたトイレを整備する。
- 男女別の更衣室，休憩室を整備する。

1～3の意見のほか，多数の意見をいただきました。

基本構想策定の参考とするため、町長が海田東小学校を訪問し、児童代表とのランチミーティングを通じて、校舎等に関する意見交換を実施。

《児童からの意見》

1 校舎全体

- 教室の床は、掃除しやすい仕様にするほか、各教室前に手洗い場を設置する。
- 冬場に温水が使用できるよう、各洗面所・トイレに温水給湯用配管を整備する。

2 教室

- 出入りがしやすいよう、教室の入口は広くする。
- 休憩時間などに自由に利用できる多目的室や、雨天時でも、室内でレクリエーションを楽しめる空間を整備する。

3 学校図書館

- 床にカーペットを敷くなど、居心地の良い空間を整備する。

4 トイレ等

- 男子トイレの個室を増設するほか、男女別の更衣室を整備する。

5 その他

- 卒業作品など、思い出の品にも配慮する。



【ランチミーティングの様子】

海田町立学校の校舎建替の基本理念をベースとしつつ、
海田東小学校の強み・特長や、**海田東地区の将来像**をコンセプトに据えて、
特色・魅力ある学び舎づくりを進めます。

整備コンセプト

海田東小学校の強み・特長

（学校規模を生かした活力ある教育活動・様々な文化に自ずと触れ合える環境）

海田東地区の将来像

（豊かな自然とにぎわいが調和した新たな拠点創出に向けたまちづくり）

を踏まえた 学び舎づくり

整備方針（施設整備に係る方向性）

海田町立学校の校舎建替の基本理念や整備コンセプト（海田東小学校の強み・特長，海田東地区の将来像），児童や保護者，学校職員等からの意見等を踏まえ，整備方針①～③について定める。

基本理念 × 整備コンセプト

基本理念

子供みんなの居場所を「つくる」

整備コンセプト

学校規模を生かした活力ある教育活動

基本理念

学校の伝統や歴史が「つづく」

整備コンセプト

様々な文化に自ずと触れ合える環境

基本理念

地域の未来に「つながる」

整備コンセプト

豊かな自然とにぎわいが調和した
新たな拠点創出に向けたまちづくり

整備方針

①

活力ある教育活動と温かな居場所が
交わる学び舎づくり

②

伝統と多彩な文化が息づく
学び舎づくり

③

地域と共に
未来を築く学び舎づくり

①活力ある教育活動と温かな居場所が交わる学び舎づくり

同学年・異学年交流を促進する空間づくり

学びの中心となる学校図書館（読書・学習・情報センター）の整備【重点】

同学年・異学年交流を行いやすい空間・動線の整備

多様な学習形態に対応した空間づくり

多様な学習活動を展開できる教室空間の整備

設備や家具の工夫による多様な学習活動の展開・教室環境の充実

多様な教育的ニーズのある児童に対応した学習環境の整備

居心地のよい快適な空間づくり

快適で温かみのある空間の整備【重点】

健康的で過ごしやすい学習・生活環境の整備

学校における働き方改革を推進し、教職員のパフォーマンスを最大化するための執務空間の整備

社会環境の変化に対応可能な柔軟性の高い施設整備

変化に対応可能な柔軟性のある空間構成

長期的な視点に立った、維持管理のしやすい施設整備

②伝統と多彩な文化が息づく学び舎づくり

言語的コミュニケーションに頼らない学校施設の整備

誰もが直感的に分かりやすいアプローチ計画、サイン計画【重点】

異文化理解を促す教育環境の整備

地域住民等との関わりを通じた異文化理解の場の提供

デジタル機器の活用等による、多様化する社会に対応した学習環境の整備

外国にルーツを持つ児童が自らのルーツを感じることができる環境の整備

伝統を継承する空間づくり

学校や地域の歴史・伝統を未来へつないでいく場の整備

③地域と共に未来を築く学び舎づくり

学校と地域が支え合い協働していくための空間づくり

地域と共に学ぶ空間の整備

地域に開かれた学校づくりに則した空間の整備

災害に備えた学校施設の整備

避難所としての防災機能の強化

整備方針①

活力ある教育活動と温かな居場所が交わる学び舎づくり

同学年・異学年交流を促進する空間づくり

重点 学びの中心となる学校図書館の整備

【イメージ例】

○学校図書館を全学年の児童がアクセスしやすい場所に配置し，館内に児童がリラックスして読書を楽しむスペースや，グループ学習や発表等ができる設備を整えるなど，児童の学びの拠点として学年を超えて様々な児童が集い，学び合う交流の場を整備する。

○児童クラブ利用児童が学校図書館でも読書を楽しみ，自習することができるよう，児童クラブからアクセスしやすい場所に学校図書館を整備する。

○外国にルーツを持つ児童が読書を通じて，母語に対する愛着や自らのルーツに対する誇りを育むとともに，異なるルーツを持つ児童にとっても，異文化に対する興味・関心をもつきっかけづくりとなるよう，母語の書籍を整備する。

整備方針①

活力ある教育活動と温かな居場所が交わる学び舎づくり

居心地のよい快適な空間づくり

重点 快適で温かみのある空間の整備

【イメージ例】

○学校施設は児童にとって、学習の場であるとともに、生活の場でもあることから、バリアフリーや防犯、避難時の動線など、安全・安心に配慮しつつ、児童がゆっくり過ごしたり、落ち着いたりすることができる居場所となるよう、快適で温かみのある居心地の良い空間を整備する。

○児童のリフレッシュの場として、落ち着いてコミュニケーションや休憩をとることができるブックラウンジやオープンスペース、雨天時でも室内で遊びを楽しむことができるレクリエーションスペースなど、児童一人ひとりが過ごし方を選べる多様な居場所を整備する。

整備方針②

伝統と多彩な文化が息づく学び舎づくり

言語的コミュニケーションに頼らない学校施設の整備

重点 誰もが直感的に分かりやすいアプローチ計画・サイン計画

【イメージ例】

○児童だけではなく、幅広い年齢層や外国人等、地域住民の誰もがスムーズに目的地とそこに至るまでの動線がわかるように、施設全体をデザインする。
また、校内の案内表示にはピクトグラムを取り入れるなど、誰もが直感的に分かりやすいサイン計画とする。